

## 平成23年度第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成23年11月19日（土）午前10時～12時00分

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

### 3 出席者

（委員）根津委員長 坪井副委員長 金澤委員、西脇委員 土久委員  
奥委員 須賀委員 藤田委員 高橋委員  
（事務局）大野教育次長 森田館長 齋藤副館長  
本多係長 長田係長、森田副主査

### 4 議題

#### （1）報告事項

- ①平成23年度利用統計及び事業報告について（4月から10月）
- ②決算委員会について
- ③蔵書点検について
- ④電算システムのリプレイスについて
- ⑤図書館法改正に伴う図書館設置条例の改正について
- ⑥Uモニアンケートについて

#### （2）協議事項

- ①レファレンスサービスの強化について

### 5 議事の概要

- ① 平成23年度利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- ② 決算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③ 蔵書点検について、事務局より報告を行った。
- ④ 電算システムのリプレイスについて、事務局より報告を行った。
- ⑤ 図書館法改正に伴う図書館設置条例の改正について、事務局より報告を行った。
- ⑥ Uモニアンケートについて、事務局より報告を行った。
- ⑦ レファレンスサービスの強化について、現状や課題を報告した

### 6 会議経過

- ① 平成23年度利用統計及び事業報告の4月から10月について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）サービスの縮小について、復活はあるのか、いつごろ復活するのか

（回答）現在予算編成を行っており、市全体の中での調整となるが、図書館と

しては可能な限り震災前の状況に戻していきたいと考えている。

(質問) まだわからないということか。開館時間も予算次第ということか。

(回答) 今後、予算編成と合わせ、市全体の事業計画の中で決定していくものである。

(回答) 現在、国の査定を受けているが、国が被害の全額を補助してくれるわけではない。国は原状回復までであり、次の地震に備え災害に強い街づくりにかかる経費は見てくれない。市の財政的には非常に厳しい状況が続いている。

(質問) 震災に伴って、サービスの質的变化はあったのか。新しいサービスなどはあるのか。

(回答) 震災についての情報が求められており、震災の関係資料、新聞記事、雑誌記事等の情報収集を行っている。また、これらの関係資料の館内展示を行った。震災直後から、浦安市全体の情報や震災についての問い合わせが多かった。子どもたちのからの問い合わせも多かった。

(回答) 避難してきた方の登録、震災による本の紛失等による弁償の免除なども行った。

(意見) 市民が疑心暗鬼になっている今、図書館からの情報提供は重要だと思う。

## ② 決算委員会について、事務局より報告を行った。

意見(質問) なし。

## ③ 蔵書点検について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問) は次のとおり。

(質問) 高洲分館の合計数が違うのではないか。

(回答) 数字を確認し、修正した資料を後日提出する。

(質問) 中央図書館の蔵書は27万冊なのか。

(回答) 既存棟の開架部分のみである。

(質問) 不明率は繰り越されてゆくのか、どのように処理されるのか。

(回答) 点検後発見される資料もあり、年度末で区切っているが、例年不明率は下がる傾向にある。以後も不明資料の発見に努めるが、3年以上発見されない資料については除籍の対象としている。

## ④ 電算システムのリプレイスについて、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問) は次のとおり。

(質問) リプレイス後システムが重くなったように感じた。また、リプレイスに9日間を要したが適正であるのか。

(回答) 暗号化システムの導入などセキュリティーの強化を図っている。外部サーバーへの移行など大きな変更があったが、検索スピードなどは以前に比べ

早くなっている。

コンペの際移行期間は2週間を想定していたが、同一メーカーのソフトでもあり、蔵書点検を含め9日間の短期間で作業が実施できた。

(質問) リプレイスの前はシステムが不安定であった気がするが原因は。

(回答) 期間前に作業を開始していた部分もあり、また、サーバー等の機器が17年に導入したもので、システムに負担のかかっていた可能性もある。

(意見) 今回のコンペでは2社の応募があったと聞いているが、次回リプレイスでは広く業者が参入できるよう検討いただきたい。

⑤ 図書館法改正に伴う図書館設置条例の改正について、事務局より報告を行った意見 (質問) なし

⑥ Uモニアンケートについて、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見 (質問) は次のとおり。

(質問) 今回はインターネット調査のみだが、来館者の調査は行っているのか。

(回答) 12年前に行っているのみであり、課題として認識している。

(質問) インターネットの利用なので、30～40代が多い。来館者の年齢調査はしているのか。

(回答) 貸出した方の年齢分析は行っている。やはり高齢の方が多い。

(質問) 来館者として多い60～70代の人たちの図書館利用について、どのように利用しているか調査してほしい。10年に1度程度は利用者調査を実施してもらいたい。

(回答) Uモニはインターネット調査であり、その回答から何を導き出すかが重要であるが、図書館のヘビーユーザーや、図書館を利用していない人たちに対する調査も課題である。もっと短い期間での調査を課題としたい。

(意見) 図書館への要望は様々な方法で把握すべきである。単独の調査ではわからないこともあり、グループインタビューの手法など、いろいろな方法を併用していく必要があると考える。

⑦ レファレンスサービスの強化について、現状や課題を報告した

その際に表明された意見 (質問) は次のとおり。

(質問) 懸念していることであるが、震災による予算削減で有料データベースの予算も減っているのか

(回答) 6月の補正で半分程度に減らしている。今後段階的に戻していきたいと考えている。

(意見) パスファインダーについては、他の図書館が複数作っているようなものは不要である。浦安市の地域情報についてなど、市民にとって重要

な情報のものである。たとえば、いまであれば、市内の放射線量のマップや、インフラの復興状況などのパズファインダーを作ってもらいたい。

7 傍聴者 0名